

どしんと コミュニケーション



Vol.109

「日本とドイツのちがい」

ポーランドにあるアウシュビッツ収容所へ行ったことがあります。犠牲になった人々の何千足もの靴、大量の髪の毛、湯の代わりに毒ガスが出てくる広いガス室、人を焼く煙が止むことがなかったと言われる炉など、見るに耐えないところでした。この収容所だけではありませんが、約百万人のユダヤ人が、ナチス・ドイツの方針によって亡くなったと聞きました。この収容所の入口には「働けば自由になれる」という言葉が掲げられていました。

また、ドイツのフライブルグという町があります。ここは世界の環境首都と呼ばれていて、環境について学ぼうとする多くの人々が訪れます。太陽光発電の先進地であり、バイオトープと呼ばれる、小さな生き物達のための小川が研究されてきました。町へ乗り入れる自家用車を制限して、公共交通を使う試みなども行われていました。聞けば、以前はフライブルグは原子力発電所の候補地だったそうです。原発に反対したついでに、今後は環境先進地になるためのまちづくりがスタートしたそうです。

今月9日、ドイツのメルケル首相が来日しました。今回の訪問でドイツと日本の首脳の考え方の違いが浮き彫りになりました。百万人のユダヤ人を虐殺し、二千万人のロシア人を戦争で殺したという説もあるドイツは、過去の総括をし、反省し、周辺国と和解をしました。

一方日本は、第二次世界大戦から時が経つほど、周辺国から反発を招くようになり、国民は心を痛めるようになり、自衛隊による国連平和維持活動や後方支援がだめだとは言いませんが、日本が紛争や戦争に巻き込まれる危険度はより増しているような気がします。

メルケル首相は福島原発事故を受けて、7年後には全原発を廃炉にすることを決めました。そしてドイツにおける再生エネルギーはすでに27%に達したそうです。「日本も同じ道を歩むべきだ」とメルケル首相は呼びかけています。

福島原発事故に学んだドイツが脱原発を決定し、今なお12万人の人が故郷へ帰れない日本が、原発を重要なベースロード電源としていることに、複雑な矛盾感を感じるのには私だけでしょうか。

原発から出てくる放射能を発するごみは、どこへも行き場がありませんし、十万年経たないと無害なものにならないと言われています。日本という島国が、全てのエネルギーを自然エネルギーや再生エネルギーで賄い、周辺の国々から信頼され、愛される楽園となる日が、私達の孫の時代頃には実現して欲しいものです。

社会保障・ 税番号制度を知ろう

その1

マイナンバーってなに？

マイナンバーは、住民票を有するすべてのかたに一人ひとりの番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されるものです。マイナンバーは、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会を実現する社会基盤であり、期待される効果としては、大きく3つあげられます。

① **公平・公正な社会の実現**
所得や他の行政サービスの受給状況を把握しやすくなるため、負担を不当に免れることや給付を不正に受けることを防止するとともに、本当に困っているかたにきめ細かな支援を行えるようになります。

② **国民の利便性の向上**
2つめは、添付書類の削減など、行政手続が簡素化され、国民の負担が軽減されます。また、行政機関が持っている自分の情報を確認したり、行政機関からさまざまなサービスのお知らせを受けられるようになります。

③ **行政の効率化**
3つめは、行政機関や地方公共団体などで、さまざまな情報の照合、転記、入力などに要している時間や労力が大幅に削減されます。複数の業務の間での連携が進み、作業の重複などの無駄が削減されます。

マイナンバー（社会保障・税番号）制度に関する情報は、広報とばでも随時お知らせしますが、国でもコールセンターを設置していますので、制度に関する問い合わせに利用してください。

マイナンバーコールセンター
0570-120-0178
(全国共通ナビダイヤル)

受付時間
平日 午前9時30分～午後5時30分（土曜・日曜、祝日、年末年始を除く）
※ナビダイヤルは通話料が掛かります。

※外国語対応（英語）は
0570-120-0291へ
※一部IP電話などでダイヤルに繋がらない場合は
050-3816-9405